

## 巻頭言

### 名寄市立病院医誌第25巻第1号の発行にあたって

病院長 和 泉 裕 一

名寄市立病院医誌第25巻第1号が完成しましたのでお届けします。名寄市立病院医誌は、平成5年に第1巻が創刊されましたので、実に25年の歴史を持つことになります。当院の諸先輩たちの創り上げた業績がコツコツと引き継がれてきた結果を示すものですが、年々内容も量も充実してきていることを実感し大変嬉しく思っております。

本号では、原著論文、症例報告、コメディカル部門の研究報告、各部門の年報・業績などの例年の内容に加え、特別企画として、新入職員や初期臨床研修を終えた研修医の皆さんからのメッセージが掲載されています。これからの医療を担っていく若い方々のフレッシュな考えや抱負が書かれており、興味深く読ませていただきました。今後の活躍を期待しています。

今年は、以前から先延ばしになっていた臨床研修病院評価を受審しましたが、無事に4年の認定をいただきました。臨床研修の教育体制が完璧であるというわけではありませんが、これまで病院全体で研修医教育に力を注いできた姿勢と内容が第三者に評価されたことであり心から喜んでいきます。職員の皆様に感謝を申し上げる次第です。教育のない病院に将来はない、と考えのもと、これからも継続的に教育にも力を注いで行きたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、人口減少問題、少子高齢化の社会的問題は、今後の地域医療に大きく影響してきます。医療に携わる者にとってこの問題は決して人ごとではありません。もちろん現在も重要ですが、北北海道の中核病院の職員として、将来に向けてこの地域の最良の医療提供体制はどのようなものかを考えながら、日々前進していきましょう。

(2017年7月26日)